

農 研 速 報

平成 26 年 1 月 15 日発行
 茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
 〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
 TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

作物名(大豆)

県 名	生育ステージ		生育の状況	問 題 点	これまでに講じた対策 及び今後の方針
	本 年	平年対比			
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	タチナガハ 10 月 22 日 成熟期 納豆小粒 10 月 24 日 成熟期	8 日早い 平年並	<p>大豆生育期間(6 月 20 日～10 月 24 日)の気象は、日平均気温は平年より 0.6℃高く、日照時間は平年比 110%、降水量は平年比 124%と多かった。降水量が多いのは、10 月 15 日に台風 26 号が通過した影響が大きく(積算降水量 224 mm)、開花期(8 月 1 日)から 10 月 14 日までの降水量は平年比 78%と少なかった(龍ヶ崎アメダス観測値。平年値は直近 5 ヶ年の平均値)。</p> <p>平年と比較して、開花期はタチナガハ、納豆小粒とも平年並であった。成熟期はタチナガハが 8 日早く、納豆小粒は 1 日早かった。</p> <p>タチナガハの生育は、主茎長がかなり長く、主茎節数が多く、分枝数がやや多かったため稔実莢数はかなり多くなった。そのため子実重は平年比 146%と多かった。百粒重は平年並であった。</p> <p>納豆小粒では、主茎長がかなり長く、主茎節数は多く、分枝数がかなり多かったため稔実莢数は多くなった。そのため子実重は平年比 130%と多かった。百粒重は平年並であった。</p> <p>台風がもたらした降雨でほ場は冠水し、莢が水に浸かる状態がおよそ 1 日間続いた。タチナガハ、納豆小粒とも成熟期間近であったこともあり収量に大きな影響は認められなかった。外観品質に関してはしわ粒が多い傾向が認められ、納豆小粒では平年より品質が劣った。また、篩下にはカビ粒が認められた。</p>	<p>台風の影響により圃場が冠水し、莢が水に浸かる状態がおよそ 1 日間続いた。</p>	<p>紫斑病及び害虫の防除を適宜実施した。</p>

表 1 成熟期における生育、収量、品質

品 種	開花期			成熟期			主茎長			主茎節数			分枝数		
	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	8月1日	-5 (8月6日)	+1 (7月31日)	10月22日	-9 (10月31日)	-8 (10月30日)	72	141 (51)	141 (51)	15.3	112 (13.7)	112 (13.7)	4.7	87 (5.4)	107 (4.4)
納豆小粒	8月6日	-4 (8月10日)	-1 (8月7日)	10月24日	-2 (10月22日)	-1 (10月25日)	89	133 (67)	135 (66)	18.1	115 (15.7)	112 (16.1)	8.1	87 (9.3)	135 (6.0)

品 種	茎の太さ			全重			穂実莢数			子実重			百粒重			外観品質		
	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 1(上上)~5(中中)~7(下)	前年差	平年差
タチナガハ	10.2	107 (9.5)	106 (9.6)	68.8	100 (68.9)	126 (54.6)	57	76 (75)	127 (45)	31.3	90 (34.9)	146 (21.5)	33.9	89 (38.2)	102 (33.3)	6.0	-1.0 (7.0)	+0.4 (5.6)
納豆小粒	10.6	108 (9.8)	109 (9.7)	82.6	93 (88.8)	133 (62.0)	182	71 (255)	106 (171)	36.5	81 (44.9)	130 (28.0)	10.0	94 (10.6)	101 (9.9)	6.0	±0 (6.0)	+1.4 (4.6)

試験場所：農業研究所水田利用研究室内圃場（龍ヶ崎市、中粗粒灰色低地土）。

()内は前年値又は平年値。平年値は平成19年～23年(5ヵ年分)のデータの平均値(平成24年は天候不順により播種期が7日遅れたため除外)。

茎の太さ：第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の中間で最も太い部分を測定した。

耕種概要：6月20日播種、11.1株/m²(畦間60cm×株間15cm)1本立て、施肥量：N-P₂O₅-K₂O：0.3-1.2-1.2(kg/a)

図 1 農研水田利用研究室圃場における成熟期の状況(タチナガハ;10月21日撮影、納豆小粒;10月24日撮影)



タチナガハ



納豆小粒